

教育目標	元気な子	考える子	やりぬく子	助け合う子
------	------	------	-------	-------

1 めざす学校像・児童像・教師像



めざす学校像	めざす児童像	めざす教師像
保護者・地域住民・学校の三者が一体となつてつくるコミュニティ・スクール ・多様な人々が共生する街の核となる学校 ・三者が教育の情報・課題責任を共有する学校 ・三者が協働活動を実践する学校	自立し共生する未来の区民＝コミュニティ形成者 明るく元気で、何事にも積極的に取り組む児童 学習問題や生活上の問題を自分の課題として受け止め、自分なりの解決策を考え、実行する児童 困難な場面に出会っても、めげることなく最後までやり抜く児童 健全な自己肯定感と社会性を持ち、様々な年齢や立場の人と仲良く協力することができる児童 自分と家族、地域に夢と希望と誇りをもつ児童	児童から敬愛され、保護者・地域社会から信頼される教師 ・児童一人一人を伸ばす指導力ある教師 ・指導力の向上と人間性の錬磨に励む教師 ・公務員、組織の一員としての自覚をもつ教師

2 中期的目標と方策



(1) 学校運営 コミュニティ・スクール西ヶ原の充実

中期的目標	保護者・地域住民の誰もが西ヶ原小学校がコミュニティ・スクールであること並びにその特長とよさを知り、3つのキーワード「共生・共有・協働」の具体的展開と効果を実感できるようにする。				
方 策	2 2	2 3	2 4	2 5	2 6
簡素で効率的で分かりやすい学校運営協議会の運営を実現					
コミュニティ・スクール第2期の学校運営協議会委員の人選を工夫					
組織の改善と学校運営コントロールの仕組みの改良					
コミュニティ・スクールの理念「共生・共有・協働」の学校ファミリー校への拡大					

(2) 児童の育成 自立し共生する主体的学習者の育成

中期的目標	算数科を窓口授業改善の研究を進め、学校に通うことを喜びとし、「算数大好き・学校大好き・先生大好き・友だち大好き」と言える児童を育てる研究を実施する。研究成果を他教科・領域の学習及び学校生活全般に敷衍し、児童の知・徳・体・技をバランスよく伸ばす指導を展開する。				
方 策	2 2	2 3	2 4	2 5	2 6
北区教育委員会研究協力校・新教育課程完全実施・小中一貫カリキュラム活用					
「できた」「わかった」「友だちと学ぶのが楽しい」算数の授業への改善					
他教科・領域・技科・生活全般に敷衍					
個別指導計画を活用した心の教育の充実					

(3) 人材育成 教師の資質・能力の向上

中期的目標	一人一人の教師が、授業が楽しい・指導がうまい・子供の気持ちをよく受け止めてくれる・情報提供が適切だと評価される、熱意溢れる教師をめざす自己革新の道筋を付ける。				
方 策	2 2	2 3	2 4	2 5	2 6
昨年度から整備を進めた学級・教科・教室経営計画の活用					
開発中の学校評価と人事評価の連動性を高めた総合評価システムの活用					
予想される大規模な人事異動を乗り切る人材育成システムの構築					

2 今年度の取り組み目標と方策



(1) 教育活動の目標と方策

教育活動の目標	具体的方策と達成基準
<p>ア 豊かな人間性の育成</p> <p>生命と人権を尊重する意識を育てる。</p> <p>健全な自己肯定感を高め、どの子にも学校生活は楽しいと実感させる。</p>	<p>道徳の授業で重点的に取り上げるとともに、他教科・領域の授業及び生活の中で「生命・人権」について指導を徹底する。 保護者アンケート設問7「生命・人権尊重の意識を育てようとしている」肯定的評価を増加させる。(昨年度86% A上昇、B横ばい、C下降)</p> <p>子供一人一人のよさを伸ばし、一人一人の課題解決を図るため、個別指導計画を活用して、指導に当たる。 児童アンケート「学校が楽しくない・あまり楽しくない」を減らす。 (昨年度14人 A減少、B横ばい、C増加)</p>
<p>イ 確かな学力の育成</p> <p>新教育課程の完全実施</p> <p>算数授業で、思考力・判断力・表現力を伸ばす。</p> <p>毎時間の授業を中学との接続を考慮した、よく分かる授業に改善する。</p> <p>学校図書館を活用し、読書学習を充実する。</p>	<p>各学年・各教科の年間授業時数配当表をクリアーする。 外国語活動を含む授業時数、1学年870時間、2学年930時間、3学年965時間、4学年1000時間、5・6学年980時間。(A到達、B評価なし、C未到達)</p> <p>算数的活動・問題解決的活動・言語活動における学習評価と指導の在り方を追究する研究を実施する。 全体研究授業3回+各学級個別授業2回。(A実施、B評価なし、C未実施)</p> <p>小中一貫教育を視野に入れ、開発した指導法を他教科の学習にも活用する。 児童アンケート「授業がよく分かる」(56% A上昇、B横ばい、C下降)</p> <p>朝読書を継続的に実施し、読書の習慣化を図り、読書の楽しさを味あわせる。 月3回・年間30回以上実施(A30回以上、B25回前後、C20回以下)</p>

(2) 重点目標と方策

重点目標	具体的方策と達成基準
<p>ア 開かれた学校作り推進</p> <p>簡素で効率的で分かりやすい学校運営協議会にする。</p> <p>技科活動の拡充と充実をめざす。</p> <p>西ヶ原がコミュニティ・スクールであること並びにその特長とよさをPRする。</p> <p>コミュニティ・スクールの理念を広め、学校ファミリー活動を活性化する。</p>	<p>メンバーの世代交代と学校運営コントロール機能の整備を着実に進める。 メンバー交代並びに学校運営コントロール機能の整備を8月までに軌道に乗せる。 (A6月に軌道に乗る、B8月に軌道に乗る、C10月以降までかかる)</p> <p>協議会傘下の新たな組織として図書ボランティアを立ち上げる。 10月までに立ち上げる。 (A8月までに活動開始、B10月までに活動開始、C12月以降活動開始)</p> <p>分かりやすい2011年版パンフレットを配布・説明するとともに、学校だよりや地域の会で積極的にPRする。 保護者アンケート設問19「説明をよく行っている」 (昨年度44% A増加、B横ばい、C下降)</p> <p>ファミリー校から委員を選出し、ファミリー活動を充実し、可視化する。 保護者アンケート設問10「飛鳥中・滝小との連携教育を推進しているがA」 (昨年度54% A増加、B横ばい、C下降)</p>
<p>イ 教師の資質・能力向上</p> <p>一人一人の教師が自己革新の目標をもてるようにする。</p> <p>努力や成果が認められ、励みとなる総合評価システムを開発・試行する。</p> <p>主幹教諭・主任教諭による若手教諭責任指導制＝人材育成システムを作る。</p>	<p>目標を明確化するために、年度当初に全教師が学級・教科・教室経営計画を作成し、さらに学級担任は個別指導計画を作成する。 作成の期日(A4月中に全員作成、B5月中旬までに作成、Cそれ以後)</p> <p>学校評価システムと人事評価システムの間をつなぐ、学級・教科・教室経営計画並びに週案簿、自己申告書等の活用法の研究を進め、簡単でしかも頑張った者の励みとなる総合評価システムを試行実施する。 年度当初になすべきこと及び1学期末になすべきことを実行し、年度末にまとめる。(Aできた、Bおおむねできた、Cほとんどできなかった)</p> <p>ベテランと中堅が責任をもって若手教諭を指導する体制を作る。併せて若手教諭は管理職を含む複数の先輩から指導を受けられるようにする。 体制整備の期日(A5月末、B6月末、C7月末)</p>